

Vol. **2**

vmware
vCloud® Air™ Network

クラウドで進化する 仮想化基盤

クラウドで進化する仮想化基盤 vol.2

クラウド

コスト削減

迅速に柔軟に運用できるハイブリッドクラウド

多くの企業でITを企業戦略の重要な一部として見直す動きが始まっています。

ITを管理する部署にとっては、ややもすれば裏方として扱われがちだった立場を一気に花形チームに昇格するととても良い機会とも言えますが、一方で日々変化するビジネスの現場からの要求に対応できるようにサービスの迅速性と柔軟性をあげる、という大きな課題を突きつけられる事となります。

- 柔軟性とスピードが一番大事
- 要件がはっきりしないリクエストでも、プライオリティの高い項目をヒアリングし、ある程度使えるもの(転用が可能なもの)をすぐに届ける
- 新しいソリューションを実現するために、今までのやり方を変革することを厭わない

という文化へ変革をしなければなりません。文化、習慣を変えることには抵抗がつきものですので一朝一夕にはいきませんが、とりあえずすぐに手をつけられる事で確実に将来の役に立つ事があります。それは、運用のシンプル化です。

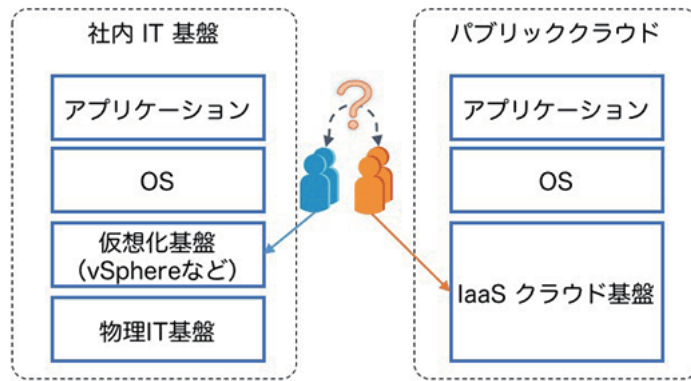
運用をシンプルにすることには、連鎖的に様々な効果が見込まれます。

- 運用手順の見える化ができる
- 見える化により、運用の標準化が容易になる
- 標準化により、運用の自動化が可能になる
- 自動化により、運用工数を劇的に減らしつつミスを削減できる
- 運用工数が減ることにより、新しいソリューションの開発により多くの時間が使え、環境の変化への対応が迅速になる

新しいテクノロジーを利用する際には、今の運用がよりシンプルになるかを第一に考えなくてはなりません。パブリッククラウドも同様です。

既存のIT基盤へ追加投資する代わりに、パブリッククラウドの利用を始めることは、「おそらく必要になるであろう分を先にまとめ買い」から「使った分だけ後から支払い」の変更になるので、目先の支出を削減する即時的な効果があります。

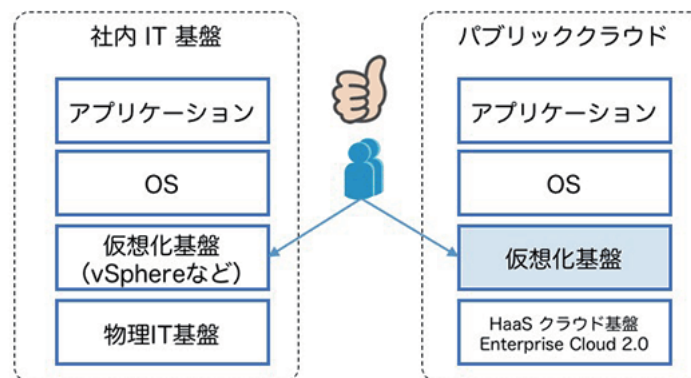
ただしパブリッククラウドを利用するプロセス・ツールと、社内IT基盤を利用するプロセス・ツールが大きく異なる場合、それぞれの環境ごとに管理者が必要になり、IT全体の運用が複雑になります。結果として、管理者の人件費などを含めたトータルでのIT運用コスト(TCO)が増加してしまうリスクがあります。



社内IT基盤とパブリッククラウドを組み合わせるハイブリッドクラウドを効率的に運用するためには、社内IT基盤の運用手順や管理者のスキルセットを大きく変えないでパブリッククラウドを管理できる事が重要です。パブリッククラウドを利用することで現在の運用がよりシンプルになるような工夫が必要となります。

例えば、現在社内の仮想化環境で使用している管理ツールで、社内環境とパブリッククラウドを全く同じように運用管理できれば、以下のステップで、無理のないペースでITの俊敏性を高めることができます。

- 現在使用している管理ツールにパブリッククラウド環境を登録し利用を開始
- 馴染みのある移行手法でパブリッククラウドへシステムを移行
- クラウド移行が完了したシステムのハードウェアを廃棄
- 管理対象のハードウェアが減ることにより、運用工数が軽減
- 運用工数が減ることにより、新しいソリューションの開発により多くの時間が使え、環境の変化への対応が迅速になる



NTT Communicationsの機能拡張したEnterprise CloudサービスではIT基盤のハードウェアがクラウドサービスとして提供されており、パブリッククラウド上に慣れ親しんだ仮想化基盤を構築することが可能になっています。

前回の記事では主にアプリケーションの移行性の観点から、こうした「持たない仮想化」あるいは「仮想化基盤-aaS」の優位性をご案内しましたが、今回は運用性の観点からの利点をご紹介しました。運用のシンプル化を促進し、ITサービスの俊敏性を実現する方法として「仮想化基盤-aaS」をぜひご検討下さい。

ソリューション紹介

》 Enterprise Cloud ベアメタルサーバー

最低利用期間なし、初期費用なしのサービス型で、占有型の物理サーバーを利用できるサービスが「Enterprise Cloud ベアメタルサーバー」です。この物理サーバー上に仮想化基盤ソフトウェアを組み込み、プライベートクラウドとして利用することが可能です。

クラウド業務で課題をお持ちのお客さま

フリーダイヤル/ナビダイヤル回線から便利な機能まで、お客さまニーズに合わせた最適なソリューションをご提案いたします。



0120-106107

受付 | 9:30 ~ 17:00
時間 | (土日祝日を除く)